

教育会だより No. 2

一般社団法人 長野上水内教育会



5/18 教育会総集会 「自律した学習者の育成 ～学びのその先へⅡ～」

本年度の教育会総集会が、5月18日（土）オンラインと希望者参集のハイブリッド型で開催され、総勢400名を超える参加者がありました。今年度は、「対話」のよさを感じていただけるよう、会員が創り上げる参画型の総集会を目指し、新たな試みを取り入れました。参加された先生方からはたくさんの好評の声をいただき、今後に生かしていきたいと思えます。

教育対話
「自律した学習者の育成
～学びのその先へⅡ～」

ファシリテーター	長野県教育委員会教育長	武田 育夫 先生
パネリスト	埼玉大学教授	岩川 直樹 先生
//	城東小学校教諭	奥井 一良 先生
//	牟礼小学校教諭	徳永 幹子 先生
//	三陽中学校教頭	駒村加つ美先生

大きく2つのテーマで「対話」が行われました。その概要を紹介します。

① 「自律した学習者の育成」とは

- ・探究の時間では、先生の対話がすごく大事。探究は、子どものためと思って仕組んだ時間だけど、先生側の自律も見えてきたところで、そこが嬉しいと思い、この時間を活動している。
- ・探究の学びは、子どもの方に渡して成り立つものだということが分かってくる。



奥井 一良 先生

② 「教師の自律、先生の自律」とは

- ・正解を出さなければいけない、自分のやり方をつつかれるのではないかと、そういう「うまくやらなければいけない」が圧になり、自律を阻んでいると感じる。
- ・ありのままの自分でいられ、お互いにフラットな関係になったときに自律が生まれ、これをやってみようという心が生まれた。

- ・子どもが本気で学びに向かう姿を求め単元内自由進度学習に出会った。トライ＆エラーで先生方と共に取り組んできた。
- ・自分を越えていくNさんの学びの姿を見たときに、自分の思いでやれる時間や、やり方、学び方を学んでいくことは必要なのだった。



徳永 幹子 先生

- ・「できない」と言えたことは、一つの突破口だったと感じる。先生方に聞くことで、誰かが助けてくれるという心強さがある。
- ・「自律」とは、その子らしさ、先生らしさを一緒に育てていくものかなと思う。私のモノサシや枠に当てはめないことを忘れないようにしたい。

- ・アポなしで地域に出て学ぶ総合の授業にワクワクしている。10年程前から先生が全部用意する学習は違うと捉え、失敗も自律に向かうとの考えで始まっている。
- ・「中学校の支援は先細りだよ」と先輩からの言葉。支援の先細りは、支援をなくすのではなく、多くの人とつなげること。



駒村加つ美 先生

- ・誰もがアップデートが必要な時代。年齢や経験値に関係なく、互いに聞き合うことで学校が動いていくと、自律につながっていくと思いつながらやっている。
- ・うまくいかないことで自己嫌悪になるけれど、支えてくれる先生方に「頑張ってるじゃん」と言ってもらえると気持ちが楽になる。



武田 育夫 先生

- ・子ども達が右往左往しながら何かをやっている時間は、一見、無駄に見えるが、自律に向かう重要なファクターではないか。
- ・子どもに委ねるとき、先生たちの不安の正体は何なのか。
- ・きちんと依存できない人は、きちんと自律もできないのではないかと、私は今にして思う。
- ・学校教育にも圧があって、失敗することに寛容でないというか、失敗させないようにするのがいい教育だ、みたいな感覚がある。
- ・教師側の尺度で見るから失敗で、子ども側から見れば決して失敗ではないのではないかと。

- ・子どもに委ねたところで、**その子がその子の一步を踏み出すときに、今までとちがう姿で立ち現れてくる**ことがある。
- ・支えなしに立つことが自律ではない。人は支えられて立つ。**支えられたから、自分を支えられるようになり、やがて誰かを支えるようになる。**
- ・立場は違っても**総合的な関わり**は結べる。総合的な関係の中で、自分で自分を律しながら、自分でまた総合的な関係をつくっていく人になる。
- ・先生方の自律は、Ed カフェなどのように、**ちょっとずつの自己開示**でよい。すぐに本音なんか言わなくても、先生同士が**安心して語り合える場**が必要。
- ・**自己開示は主体的にするもの。小出しでよい**ので続けていくこと。小出しだって積み重ねれば大したもの。
- ・「失敗」とは何だろう。もっと now glowing、**その子が今越えようとしているところに熱い眼差しを向けていたら、失敗とか成功とか、そんな言葉はどこかへ飛んでしまう**と思う。
- ・「**何かちがうんじゃないか**」を大事にしたい。そう思うのは、子どもの姿を見ているから。



岩川 直樹 先生

総集会に参加された先生方からは、以下のような感想をいただきました。

- ・教育会の日頃の活動の延長線上に本日の総集会があり、それが内容的にも方法的にもつながっていると感じました。画面越しですが、教育会の躍動感を感じました。
- ・若い会員の先生（小田切先生、堀口先生）の司会進行が、これまでの教育会総集会のイメージを一掃するくらい斬新であり、よかった。
- ・パネリストの先生方が、日頃の想いを語ってくださる姿を見て、年齢、肩書き関係なく話をすることの大切さを改めて感じる時間となりありがたく思いました。



5/10 令和6年度 研究委員会 がスタートしました

3 部門「教師力向上部(語り合おう)」「教科研究部(深めよう)」「特別企画部(広げよう)」の 26 委員会が総委員会を経て活動を開始しました。

昨年度開設された「**ED カフェ長水(エデュケーション・オンラインカフェ・長野上水内)**」では、先月に第 1 回目が行われました。「面白い学校」をテーマに、和やかな雰囲気の中、ざっくばらんに語り合い、深め合う時間が流れていました。

教科研究部の 7 委員会については、今年度も**長野市教育センター研究委員会との共同研究**を進めています。今年度、既に 10 名の先生方が授業を公開してくださっています。委員の先生方の授業公開を通して、多くの会員が学び合える場です。**授業公開予定は、随時スクリーンに掲載**していきます。**会員はもちろんのこと、会員でない先生も参観できます。**

ぜひご参加ください。

5/24 第 1 回 講師研修会 第 2 回は 11 月 15 日(金)

19 名の先生方が教育会館に参集し、学び合い、語り合う時間が共有されました。長野上水内教育会前顧問 永井 克昌 先生から「**信頼される教師とは**」との演題でご講話いただきました。また、後半は、小グループに分かれて情報交換会が行われ、充実した時間となりました。以下に、参加された先生方の声をご紹介します。

- ・教師として大切にしなければならないことを改めて実感することができました。子ども達のために何ができるか、子どもを第一に考えられる教師でありたいと思いました。今日、いろいろな言葉を聞くことができたので、家に帰ってもう一度読み返したいと思います。
- ・信頼される教師になるために一番大切なことは、子ども達を第一に考えて「知る」ことだとわかりました。子ども達とコミュニケーションをとりながら、よい信頼関係を築いていけるように頑張っていきたいです。
- ・先生方のお話をお聞きして、悩みを抱えているのが自分だけではないとわかった。また、ベテランの先生方にアドバイスをいただくことができ、大きな成長の機会になった。

